

調査事例：脱脂洗浄〔環境気中への有機溶剤の発散要因〕

環境・健康

当社で作業環境測定を実施した脱脂洗浄作業場における作業環境を悪化させている要因についての調査結果を下記表に示しました。本調査は、作業環境の管理区分が『2』又は『3』の作業場について、測定を担当した作業環境測定士にアンケート形式で行いました。

作業環境を悪化させている要因は、局所排気装置による有機溶剤の発散の抑制が不十分が49%を占め、次いで作業方法が不適なことによる発散が41%、洗浄設備、溶剤容器の管理の不備が10%となっています。

脱脂洗浄作業での環境気中への溶剤の発散を防止するには、局所排気装置等により溶剤の発散を防止すること、洗浄後、品物に付着した溶剤を除去後洗浄設備外に取り出すこと、設備・容器の管理が必要です。なお、逆流凝縮器のみで溶剤の発散を十分に抑制することは困難です。

環境気中への有機溶剤の発散要因

有機溶剤の要因		例数	割合 (%)
管 理	状 況		
設備管理	局所排気効果が不十分	15	39
	局所排気装置が未設置、逆流凝縮機は稼動	4	10
	設備から溶剤漏洩、溶剤容器の蓋なし	4	10
	小計	(23)	(59)
作業管理	洗浄後、品物からの溶剤の除去が不十分	16	41
	合計	39	100

kes サポート

課 題	k e s サポート
作業環境の管理状況の調査	作業環境測定
作業環境への有害物質の発散抑制	局所排気装置等の定期自主検査 排・換気装置の改善・設置
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施
衛生意識の向上	労働衛生教育